

会津美里町  
学校施設長寿命化計画  
(個別施設計画)

---

会津美里町教育委員会

# 1. 計画の背景と目的

学校施設（本計画の対象：小学校、中学校、学校給食センター）

第2次ベビーブーム世代の増加に伴い、昭和40年代後半から50年代にかけて多く建築されました。

- ・児童生徒 基礎学力を身につける学びの場、日常生活の多くの時間を過ごす生活の場
- ・地域住民 地域活動の場、非常時や災害時には避難所としての役割を果たす施設

そのため、「安全・安心」を第一に維持管理をする必要があります。

平成28年3月、会津美里町公共施設等総合管理計画(以下「総合管理計画」という)を策定

学校施設の現状を把握し、中長期的な費用の見込みと維持管理方針を決定することで、今後の学校施設の在り方を明らかにする目的があります。

(計画期間：令和3年度～令和12年度 5年間ごとに見直し)

## 2. 本町における学校施設の現状について

### 【対象施設の概要】

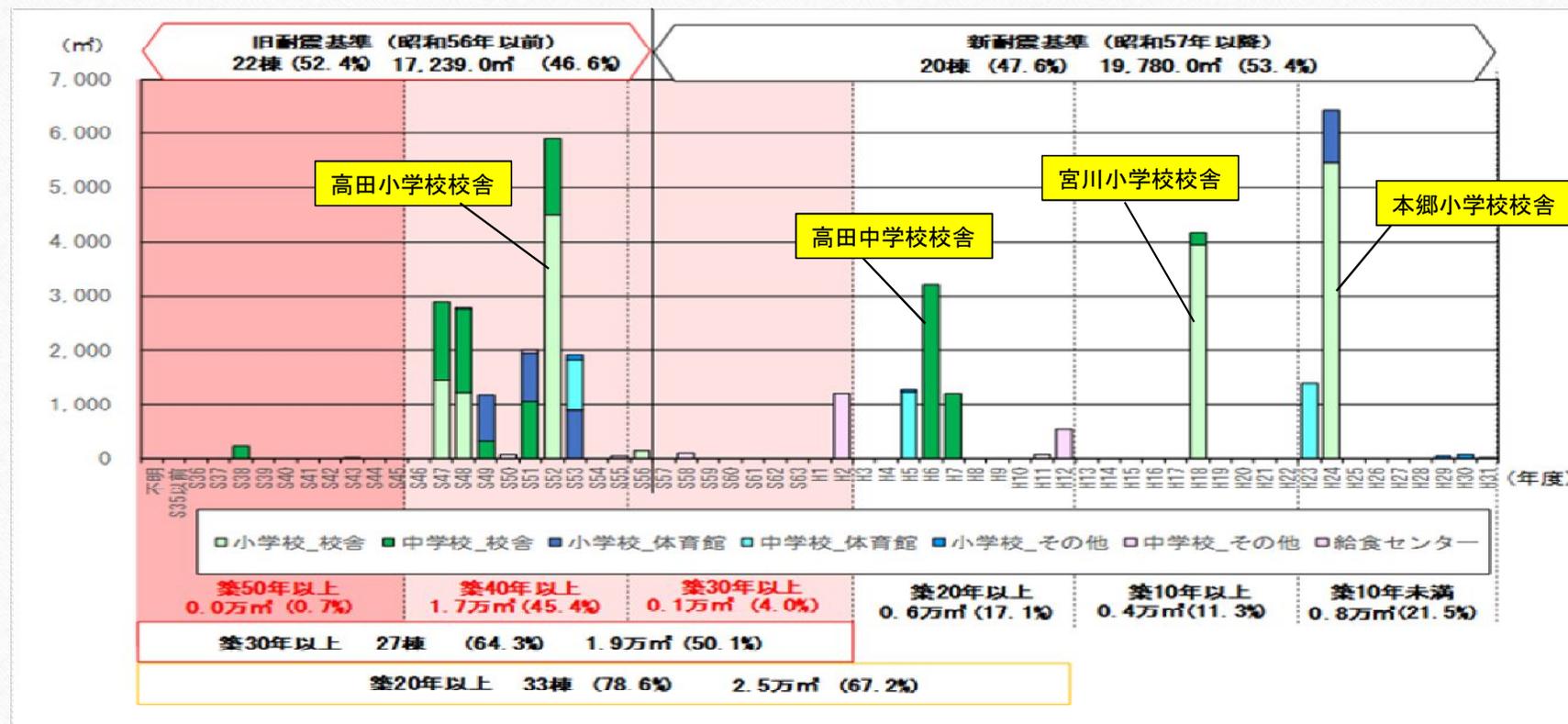
本計画の対象施設一覧(施設用途別)

施設の用途	対象施設	施設数	棟数	延床面積 (㎡)
1.小学校	高田小学校、宮川小学校、本郷小学校、 新鶴小学校、新鶴小学校沼山分校	5	17	20,592
2.中学校	高田中学校、本郷中学校、新鶴中学校、	3	21	14,676
3.給食センター	高田学校給食センター、新鶴学校給食センター	2	4	1,751
合 計		10	42	37,019

・学校施設の年間平均経費 : **1年あたり4.2億円**(工事費・維持管理費・光熱水費)  
(平成28~30年度の3年間平均)

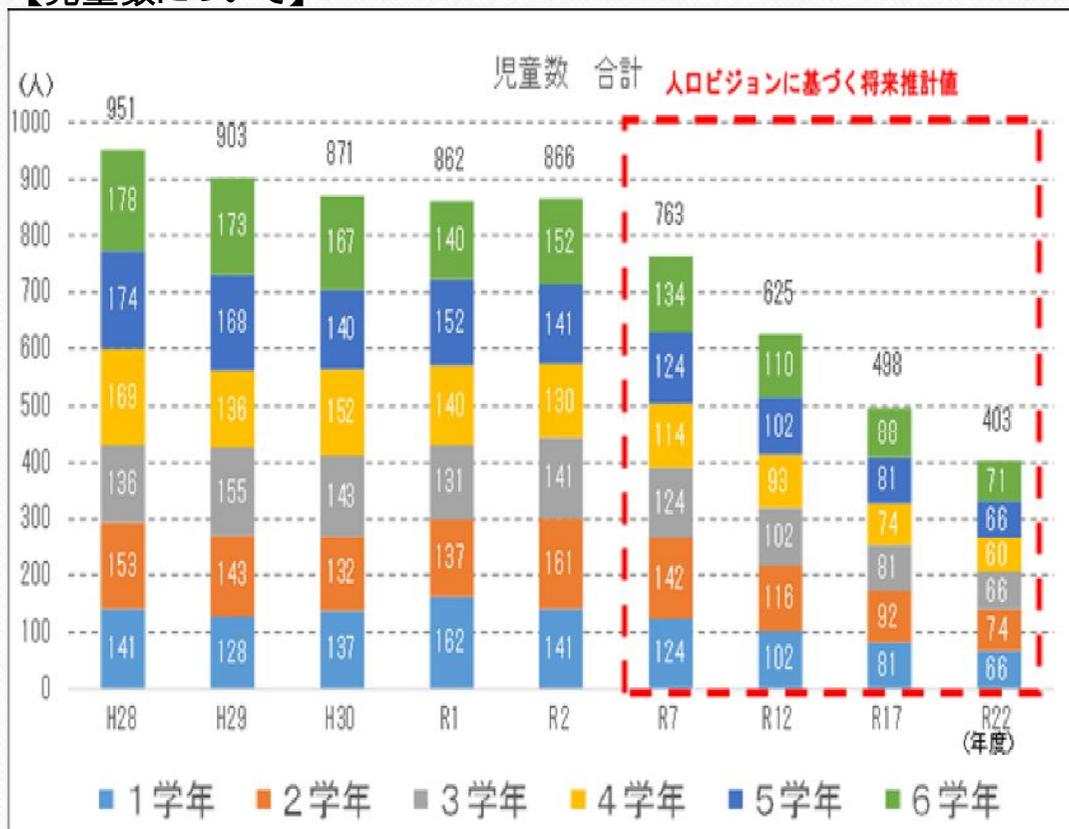
## 【学校施設の築年別整備状況】

- 旧耐震基準が46.6%、新耐震基準が53.4%(延床面積比) ■建築後30年以上経過している建物は50.1%
- 平成23年度「本郷中学校 屋内運動場(体育館)」、平成24年度「本郷小学校 校舎」(5,472㎡)および「体育館」を建設



### 3. 児童・生徒数の変化と今後の推計

【児童数について】

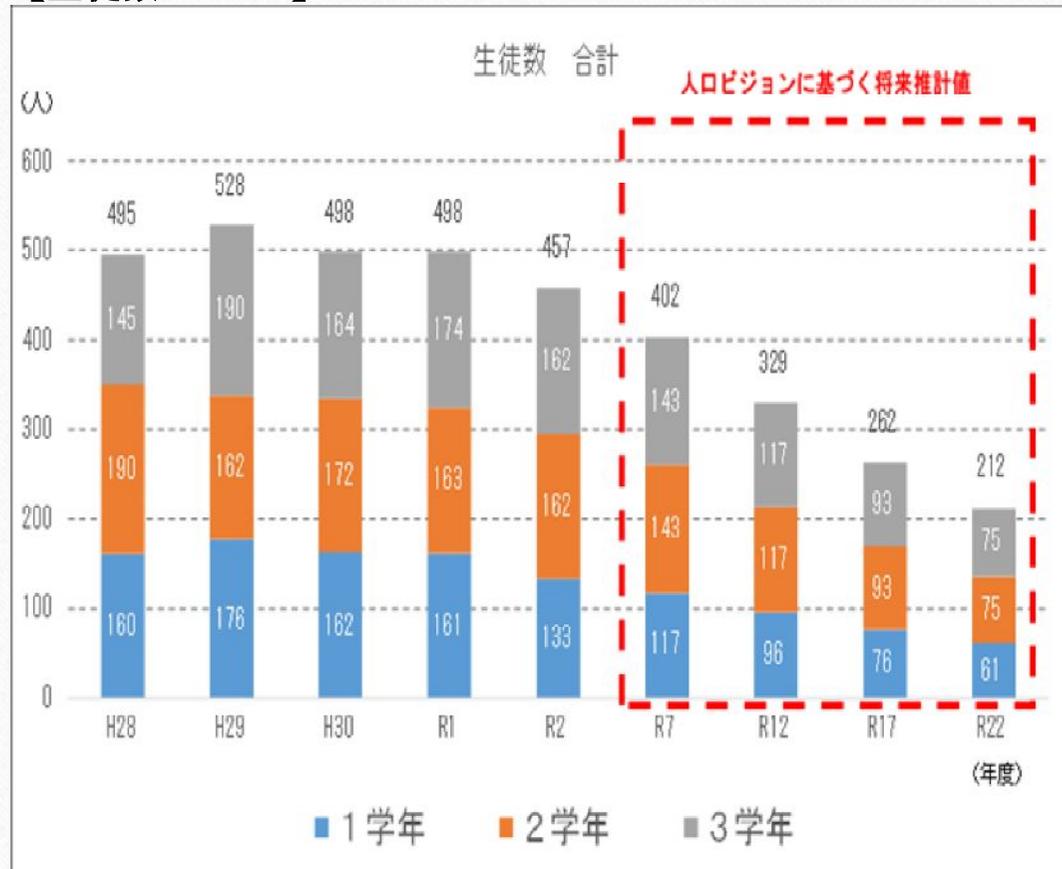


■ 令和2年度(2020年度)の児童数は866人です。

■ 平成28年度(2016年度)から令和2年度(2020年度)は概ね横ばいで推移していますが、将来は急激に減少していくものと推計されます。

■ 人口ビジョンに基づく将来推計値から、令和22年度(2040年度)の児童数は403人と推計されます。

## 【生徒数について】



■ 令和2年度(2020年度)の生徒数は457人です。

■ 平成28年度(2016年度)から令和2年度(2020年度)は概ね横ばいで推移していますが、将来は急激に減少していくものと推計されます。

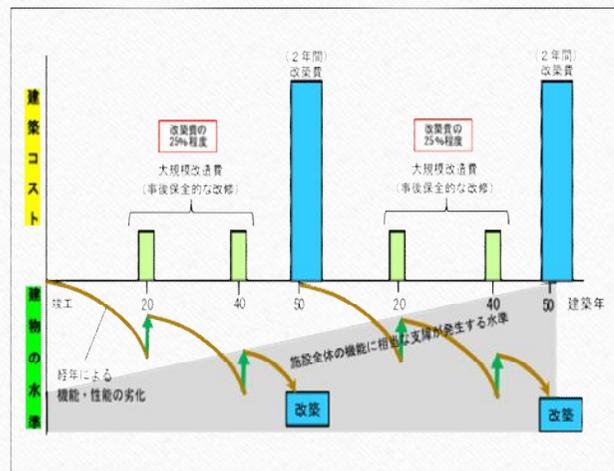
■ 人口ビジョンに基づく将来推計値から、令和22年度(2040年度)の生徒数は212人と推計されます。

# 4. 今後の施設の維持管理コストの考え方

## (1)従来型

建物を、建築後50年間使用し建替える、従来の考え方に基づく建替え周期で建物を更新する手法です。

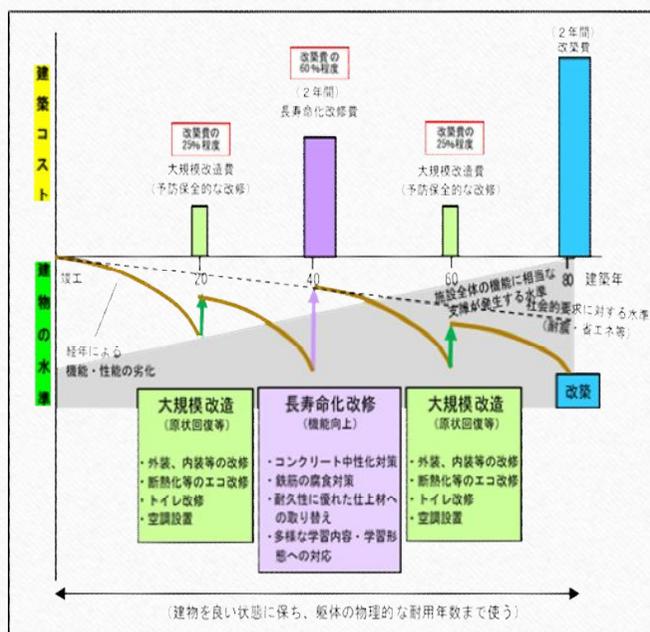
【従来型コスト算出イメージ図】



## (2)長寿命化型

建物を、建築後80年間使用することを目標とした建替え周期で建物を更新する手法です。その間、建築後20年目と60年目に大規模改修を、40年目には長寿命化改修を実施します。

【長寿命化型コスト算出イメージ図】



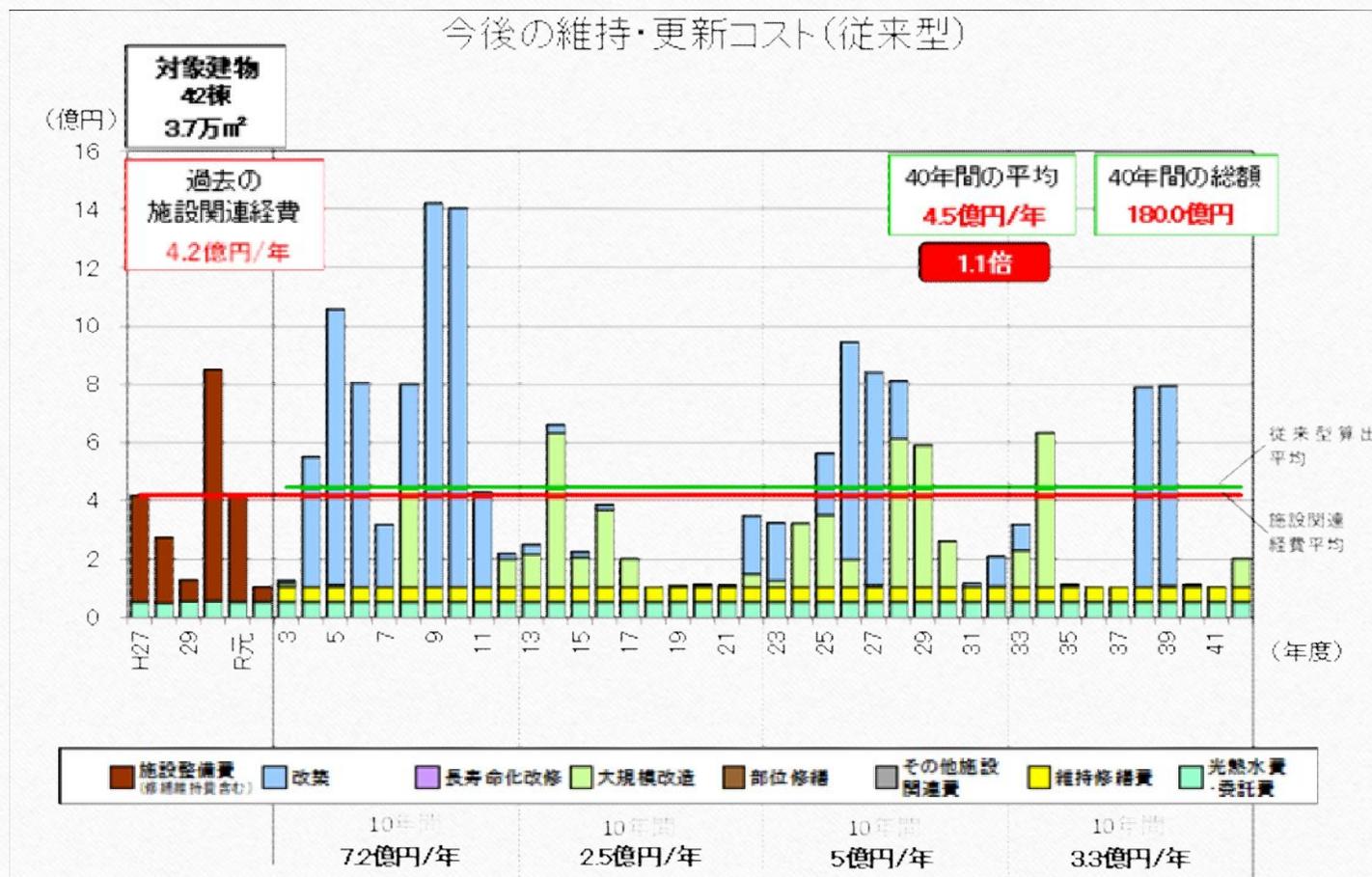
## (3)施設適正化型

建物の長寿命化を図りつつ、「実施計画の策定」の内容に基づき、本町が検討した施設の将来方針(統廃合や解体等)を反映した「施設適正化型」による算出手法です。



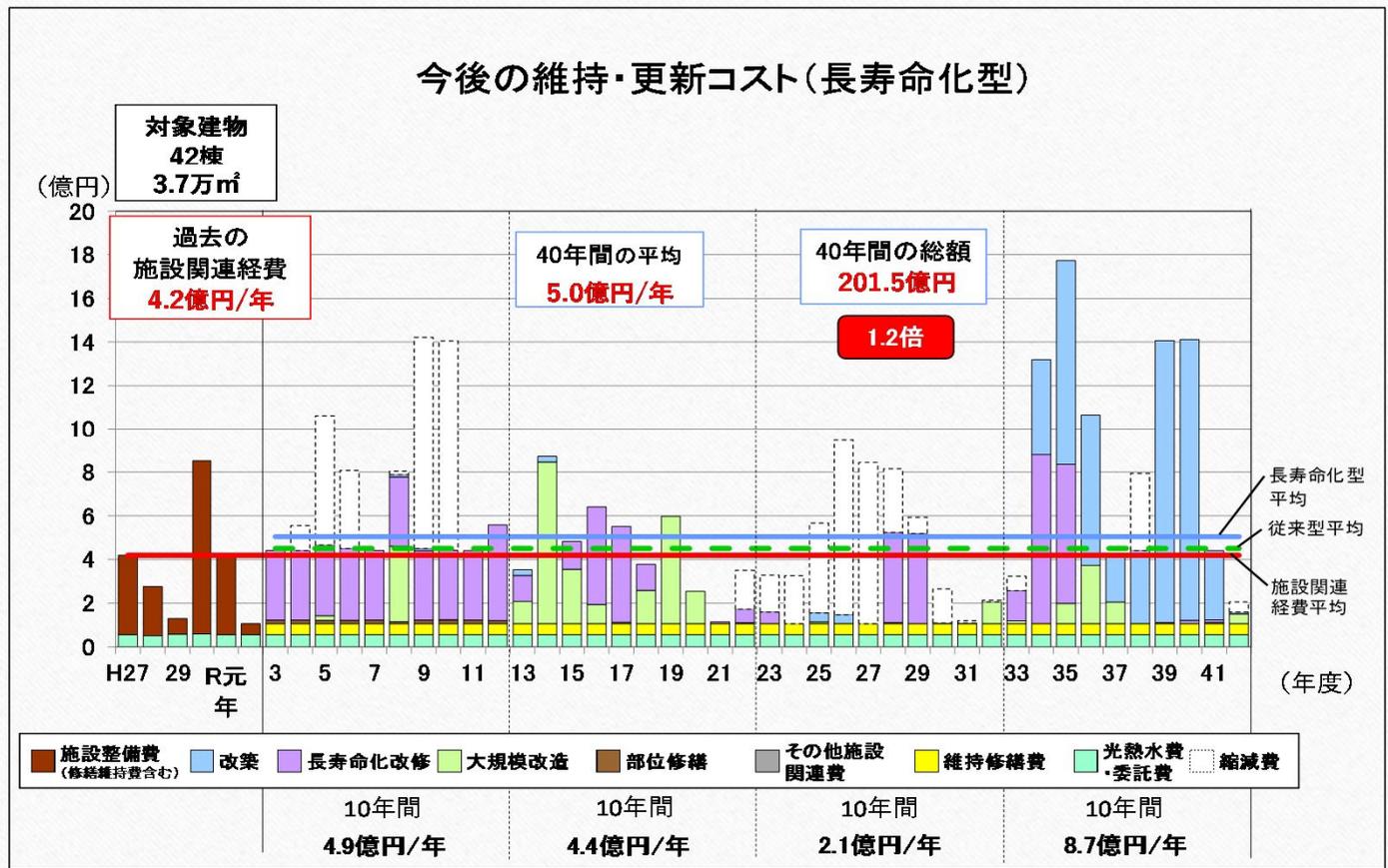
町はこのやり方を導入します。

(1) 従来型・・・今までどおり50年ごとに更新をする型



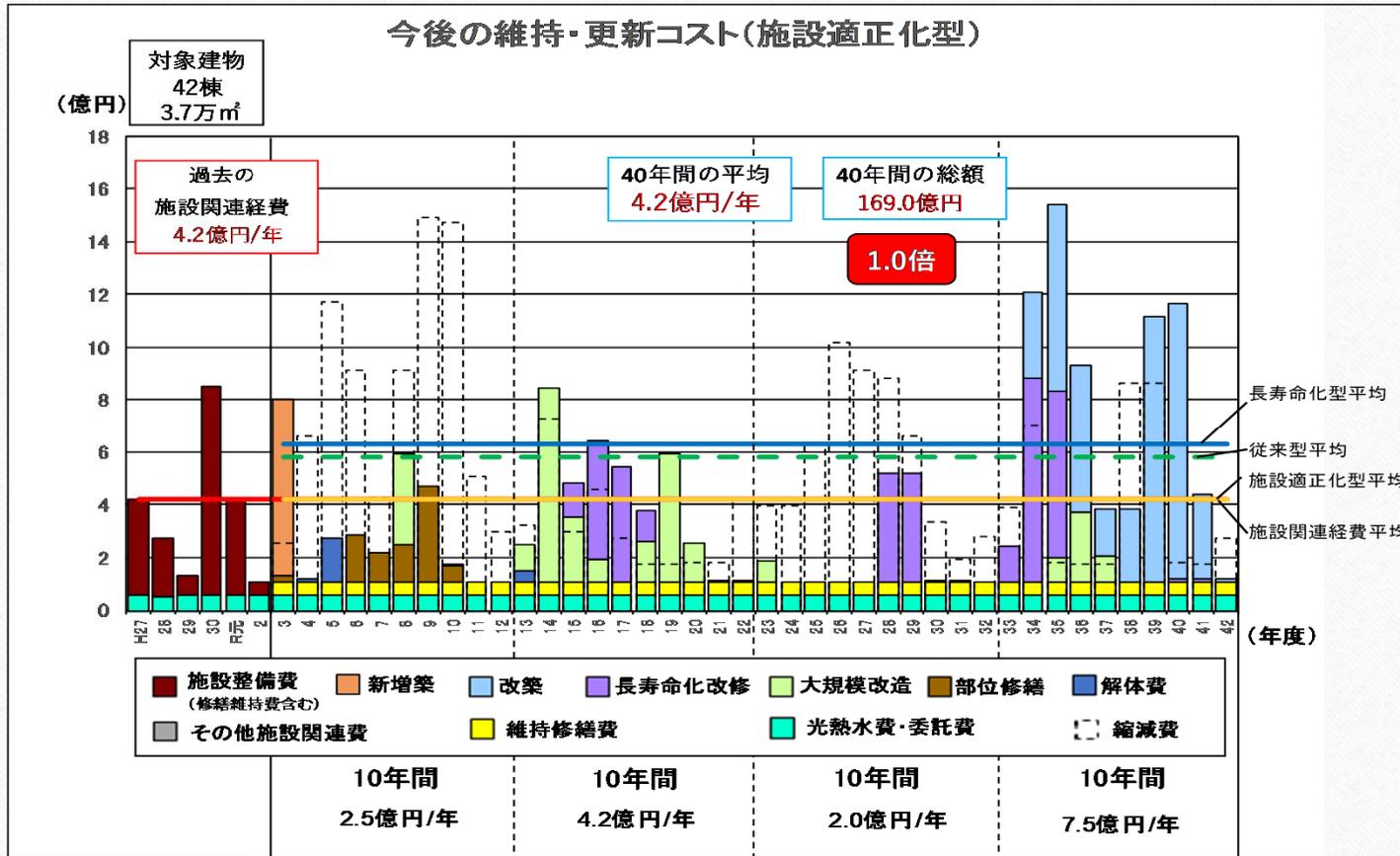
40年間で180億円  
(年間約4.5億円)  
必要です

(2) 長寿命化型・・・新築後80年使用するため、築40年目に「長寿命化改修」、築20・60年目に「大規模改造」等を行う型



40年間で201.5億円  
(年間約5億円)  
必要です

(3)施設適正化型・・・長寿命化型の考え方で施設更新を行うが、今後の施設方針等を踏まえた型（今回町が導入する型）



40年間で169億円  
 (年間約4.2億円)  
 必要です

## 5. これからの建物維持管理方針について

【「施設適正化型」による将来コストの算出】

算出方法	40年間の総額		40年間の平均		従来型を100とした時の縮減比率
	金額	従来型に対する差額	金額	従来型に対する差額	
従来型	180.0億円		4.5億円		100.0%
長寿命化型	201.5億円	+21.5億円	5.0億円	+0.5億円	119.4%
施設適正化型	169.0億円	-11.0億円	4.2億円	-0.3億円	93.9%

■長寿命化型に施設整備方針(実施計画)を加えた「施設適正化型」による将来コスト算出では、今後40年間に169.0億円(4.2億円/年)がかかる算出結果となり、従来型(4.5億円/年)と比べ、1年あたり約0.3億円のコスト縮減効果が見込まれます。

## 【施設整備方針(実施計画)】(抜粋)(本編P31以降参照)

計画年度	事業区分	施設・建物	事業内容
令和3年度 (2021年度)	●	会津美里町学校給食センター(仮称)	新築(新築工事の2年目)
		新鶴中学校屋内運動場	部位修繕(屋根・屋上、外壁)
		本郷中学校ボイラー室	部位修繕(屋根・屋上、外壁、内部仕上、電気設備、機械設備)
令和4年度 (2022年度)		本郷中学校プール(本体)	解体
		本郷中学校プール更衣室	解体
令和5年度 (2023年度)		新鶴小学校沼山季節分校	解体
		高田学校給食センター	解体
		高田学校給食センター プロパン庫	解体
		高田学校給食センター 車庫・倉庫	解体
令和6年度 (2024年度)		新鶴小学校屋内運動場	部位修繕(屋根・屋上、外壁、内部仕上、電気設備、機械設備)
		本郷中学校 校舎(特別教室)	部位修繕(屋根・屋上、外壁、内部仕上、電気設備、機械設備)
		本郷中学校 校舎	部位修繕(屋根・屋上、外壁、内部仕上、電気設備、機械設備)
		本郷中学校 校舎	部位修繕(屋根・屋上、外壁、内部仕上、電気設備、機械設備)
令和7年度 (2025年度)		本郷中学校 校舎	部位修繕(屋根・屋上、外壁、内部仕上、電気設備、機械設備)
令和8年度 (2026年度)		宮川小学校 校舎	大規模改造
		高田中学校 校舎・廊下	大規模改造
		宮川小学校屋内運動場	部位修繕(屋根・屋上、外壁、内部仕上、電気設備、機械設備)
		新鶴中学校 校舎	部位修繕(屋根・屋上、外壁、内部仕上、電気設備、機械設備)
		高田中学校 校舎	部位修繕(外壁)
令和9年度 (2027年度)		高田小学校 校舎	部位修繕(屋根・屋上、外壁、内部仕上、電気設備、機械設備)
		新鶴中学校 校舎	部位修繕(屋根・屋上、外壁、内部仕上、電気設備、機械設備)
令和10年度 (2028年度)		新鶴中学校倉庫	大規模改造
		高田小学校屋内運動場	部位修繕(屋根・屋上、外壁、内部仕上、電気設備、機械設備)
		宮川小学校プール更衣室	部位修繕(屋根・屋上、外壁、内部仕上、電気設備、機械設備)
令和11年度 (2029年度)		2020年度時点で、計画的な改築や修繕等の事業予定はありません。	
令和12年度 (2030年度)			

※現在、令和3年度の予算編成中であり、表の内容については変更になる場合があります。

## 6. まとめ

◇現状は…

小中学校、学校給食センターの施設をこのまま維持していくことは、財政的に厳しく、学校施設の更なる延床面積縮減が必要となります。

◇今後の方針は…

学校施設の建物の更新時期が集中すると予想されるため、施設の必要性の検討や更新・改修などの事業実施時期の調整により建設コストの平準化を図ります。

また、児童生徒数の減少を見据えた上で教育活動が円滑に行われるよう、学校の統廃合や義務教育学校の設置など教育環境の整備について検討してまいります。

◇町民の皆様へお願いすること…

「これからの子どもたちのための教育環境整備」へのご理解をお願いしたいと思います。